

1 学校経営の基本構想

(1) 学校経営の基本や基盤

- ①公教育を推進する学校として、日本国憲法、教育基本法に示された教育の理念に基づき、関係諸法規並びに学習指導要領、中教審答申「『令和の日本型教育』の構築を目指して」に立脚した教育を行う。
- ②福岡県、糸島市の教育施策の方針に則るとともに、市学校管理規則に従いつつ、社会の変化に主体的に対応し、未知で先進的な事にもチャレンジする教育を推進する。
- ③コミュニティ・スクールとして、地域・家庭から信頼され、誇りに思われるよう、現代社会の要請並びに保護者や地域、生徒の実態に応じ、それぞれの願いを具現化する。

(2) 学校教育目標

～校訓 「希望」「知性」「実践力」～

地域を愛し、心豊かで未来を切り開く生徒の育成

○「地域を愛し」とは

現在生活している「糸島市」の「ひと、こと、もの」から様々なことを学び、その学びを通して、糸島市民であることに愛着と誇りをもち、我が国や福岡、糸島の歴史・文化と伝統を尊重しながら、国際社会を生き抜く資質を育むことである。

○「心豊かで未来を切り開く」とは

「糸島力」が定義する「変革の激しい社会を思慮深くしなやかに生き抜いていく『知恵』を獲得した人づくり」をめざし、豊かな想像力を備え、持続可能な社会の担い手となることが期待される子どもたちへ「生きる力」を育むことが学校の使命であるととらえる。そこで「生きる力」の3つの柱のうち、「自らを律しつつ、他人とともに強調し、他人を思いやる心」の育成を重視し、自他を大切に思いながら、未来を見据え、自ら考え、判断し、地域に貢献するために行動することができる生徒の育成をめざす。

(3) 具体的目標

①めざす学校像

- 地域・社会づくりに貢献する人材を育成し、地域とともに成長する学校【希望】
- 高い志をもち、未来を切り開く力を育成する学校【知性】
- 生徒同士、教師と生徒間の信頼関係を基盤とした温かく活気に満ちた学校【実践力】

②めざす生徒像

- 将来に希望をもち自分と向き合う力、社会に貢献しようとする生徒【希望】
- 自分の強みを見つけ、向上心をもって学び続ける生徒【知性】
- 自他ともに大切にし、多様な他者と協働しながら粘り強く挑戦する生徒【実践力】

③めざす教師像

- 生徒への愛情にあふれ、教職員としての誇りと情熱をもち、地域や社会づくりに貢献する人材育成をめざし実践する教師【希望】
- 日々自己研鑽に励み、組織として協働して自校の教育課題の解決を図り、学校経営に参画する意識をもって主体的に職務を遂行する教師【知性】
- 同僚、保護者、地域等、学校に関わる全ての人々と協働し、チームワークを大切にして職務に当たる教職員生徒理解に優れ、寄り添い、愛情をもって向き合う教職員【実践力】

【成果指標】

- 【希望】 前向きに未来を描く力：規範意識(情報モラル等)、責任感、社会性、使命感、貢献性
・生徒自己評価平均3.5以上(4段階評価)
- 【知性】 深く考え学び続ける力：自己肯定感、自己効力感、忍耐力、回復力、向上心
・生徒自己評価平均各3.5以上(4段階評価)
・学力：県平均・全国平均点超え ・体力：全種目平均Tスコア50以上
・不登校出現率 前年度比9割以下
- 【実践力】 他者とつながる力：他者理解、共感性、協調性、利他性
・生徒自己評価3.5以上、他者評価平均3.5以上(4段階評価)

(4) 本校の教育課題、経営課題

① 教育課題

- ア 自他を大切にすること人権意識、他者を思いやる心の醸成
 - いじめ、不登校、生徒間トラブルへの組織的・迅速な対応の強化
 - 道徳教育、情報モラル教育、集団づくりの充実
 - 「鍛ほめ福岡メソッド」「自己決定・自己存在感・共感的人間関係」を意識した授業づくり
- イ 確かな学力の向上
 - 基礎・基本の定着 ○家庭学習の定着化
- ウ 情報活用能力(情報モラル等)の向上
- エ 社会貢献力の向上
 - 場に応じた挨拶や適切な言動などの礼儀や地域に関わる意欲や行動力の向上

② 経営課題

- ア 校務分掌・学年部会の組織的、機能的運営
 - 4者会、主任会などによる教頭・主幹教諭・学年主任等による校務運営の充実
 - 学年・分掌部会→主幹教諭→教頭→校長の系統的かつ迅速な報告・連絡・相談の徹底と組織的指導・支援の徹底
 - 学年副主任の設置 ○風通しの良い、協働的な教師職員集団づくり
 - ICTを活用した業務改善
- イ 社会に開かれた教育課程の最適化
 - 道徳教育や特別活動、日常的な教科指導等での集団づくり等による相手を思いやる生徒の育成
 - 起業家教育をはじめとする総合的な学習の充実(地域・保護者との連携・協力強化)
 - 情報モラル教育を含む情報活用能力の充実、
 - 生徒指導・学習指導面における小中連携の推進
- ウ 教職員の意識改革・人材育成
 - いじめ・不登校兆候を見逃さず、生徒の自己指導能力や自他を大切にすること人権意識、他者への思いやる心を高める学級経営力・授業力及び生徒指導力の向上
 - アプリを活用した協働活動・まとめ・振り返りの実施、個別学習アプリの活用を通して活用生徒のICT活用指導力の向上
 - 教育公務員・社会人としての基礎・基本、不祥事防止の取組

(5) 経営の重点

- ① 非認知能力(協働/目標達成への意欲/自尊感情)の育成
- ② 基礎・基本の確実な定着による認知能力の向上
- ③ 新教育課程の充実
- ④ 生徒指導・支援(特別支援教育含む)の充実 (45分授業・「西中タイム」等)
- ⑤ 小中間連携強化による校区事業の充実
- ⑥ 保護者・地域等との連携・協力強化
- ⑦ ICTを活用した業務改善
- ⑧ 学年副主任設置による学年内の組織体制の充実

2 本年度の重点

(1) 本年度の重点目標

「知性～深く考え、学び続ける力～」……[生徒・教職員・他者評価平均3.5以上(4段階評価)]

自他を大切にし、協働しながら主体的に学び成長する生徒の育成

(2) 重点目標達成のための具体的方途

- ① 以下の方途実現のために前後期にPDCAサイクルによる改善、各分掌での分析を行うことにより、重点目標達成を目指す。(生徒・保護者・教職員による評価実施・検証)
- ② 方途1, 2, 3における**小中連携の充実**

【方途1 授業づくり】

生徒が安心して学び合える支持的風土のある学級づくりと、個別最適な学び・協働的な学びの充実に
図るための指導力の強化

※「西中タイム」の企画・推進【教育課程部を中心に】

- ・各教科における**基礎・基本の内容と手立ての明確化と実践による確実な定着【教育課程部→教科】**
- ・定期考査や単元テストの**計画的な作成・効果的な実施(綿密な実態把握)【教育課程部→教科】**
- ・自己選択学習・補充学習の内容検討・計画的な実施【教育課程部→教科】
- ・「**自己選択・決定の場**」を設定する**授業づくりの推進【研究部】**
- ・家庭学習の計画的・意図的運用【教育課程部・研究部・各学年】
- ・情報モラル教育を含む情報活用能力の育成をめざす各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の年間指導計画作成【研究部 ICT担当・各教科等担当】
- ・四分位層CD層の生徒の学力向上や個別最適な学び・協働的な学びの推進に向けた、少人数やTT指導等、年間を通して指導方法工夫改善を計画的に有効活用した学習支援の充実【教育課程部・研究部 学力向上コーディネーター】
- ・**地域と連携したキャリア教育・起業家教育を含む総合的な学習等の「探究活動」の充実【CS運営支援・教育課程部・進路 指導主事・各学年】**
- ・意図的・計画的な**道徳・特別活動の実践【教育課程部(人権・同和教育担当)・各学年】**
- ・SNSトラブル防止に向けた研修の充実と生徒への情報モラルに関する計画的指導、啓発教育の徹底【生徒指導部・研究部 ICT研究担当】
- ・**小中間における主題研修の共有【校区事業・研究部】**

【方途2 環境づくり】

生徒が安心して過ごすことができる安全な学校環境づくりの強化

〈心的安全〉

- ・ユニバーサルデザインの視点に基づいた教室環境整備の徹底・維持【教育課程部・健康指導部(感染対策の観点から)】
- ・今の学校に必要な**生徒会活動の充実【生徒会指導部】**
- ・生徒が主体的に取り組む**学校行事【生徒会指導部、各担当分掌部会】**
- ・異年齢集団活動による**自治活動の活性化【生徒会指導部】**
- ・**生徒会活動を中心とした自治の力の育成についての共有【校区事業・生徒会指導部】**
- ・**集団づくりを中核に据えた人権・同和教育の充実【教育課程部(人権・同和教育担当)・各学年】**
- ・配慮を要する生徒への合理的配慮を踏まえた教室環境整備の充実【生徒支援部】
- ・いじめの早期発見・早期対応に係る無記名アンケートや生活アンケートの確実な実施。

- ・教育相談活動の充実【健康指導部】
- ・「いじめ防止基本方針」をもとにした全職員での未然防止・早期発見・早期対応の徹底、HP等での保護者への周知【生徒指導部】
- ・Q Uデータ分析・積極的に活用した学級づくり（学年会での交流・助言等）【生徒指導部】
- ・**集団づくりに関する校内研修の充実**
【教育課程部(人権・同和教育担当)・生徒指導部・生徒支援部・研究部】
- ・「前向きに未来を描く力(希望)」「他者とつながる力(実践力)」「深く考え学び続ける力(知性)」の姿が見える掲示物の充実【研究部】
- ・かがやき学級、通級・チャレンジ教室・保健室運営の共通理解と連携の強化【生徒支援部】
- ・就学相談等、各支援へのスムーズな接続体制の強化【生徒支援部】
- ・**凡事徹底・率先垂範**：生徒の模範となり、当たり前のことを当たり前に行うことを自ら示す教職員
- ・**師弟同行**：生徒に寄り添い、生徒とともに歩む教職員
→生徒一人一人を大切にする言動（丁寧な言葉遣い・配慮）をとる教職員

〈物的安全〉

- ・年度当初に全教職員に危機管理マニュアルの内容の周知と内容の随時改訂【教頭】
- ・毎月の安全点検と管理職への結果報告・事務室と連携した早期対応
【健康指導部・事務室・教頭】
- ・災害等に備える防災学習・防災訓練の充実【健康指導部】

【方途3 組織づくり】

いじめ・不登校撲滅のために、生徒と向き合う時間を確保するための、教育活動・校務の組織的・機能的運営と教職員の人材育成

- ・校務分掌における責任体制の明確化・協働体制の確立
- ・**学年副主任設置による学年内の組織体制の充実**
- ・危機管理体制の充実（報告—連絡—相談の徹底と組織的対応力の強化）
- ・教頭・主幹教諭・主任主事による見通しをもった業務運営
- ・**会議等の資料のペーパーレス化などICTを活用した積極的な業務改善**
【教頭・主幹教諭・ICT担当】
- ・特別支援教育や生徒指導・生徒支援体制の充実【生徒支援部】
（ケース会議、特別支援委員会の充実による組織的対応の強化）
- ・SC/S SWや教育支援センター等と連携したケース会議の充実【生徒支援部】
- ・いじめ（生徒間トラブル含む）・不登校対策委員会の定期的な開催【生徒指導部・生徒支援部】
- ・教師力（感性）を鍛える校内研修の充実（特に一般研修の充実）【研究部・各分掌】
→GTを活用した生徒指導（いじめ・不登校等）に関する職員研修の充実
→「いじめ防止基本方針」をもとにした全職員での未然防止・早期発見・早期対応の徹底に向けた校内研修
- ・不祥事防止につながる、風通しの良い明るく充実した職場の醸成
- ・家庭・地域と連携したコミュニティ・スクール連携の取組の充実【CS運営支援部】
- ・地域貢献活動・ボランティア活動の参加促進【CS運営支援部】
- ・**小中間でのいじめ・不登校対応の共有化**【校区事業担当・生徒指導主幹】

(5) 学校経営構想図

国・県・市の要請 教育の動向 保護者の願い 地域の願い

令和8,9,10年度学校教育目標
地域を愛し、心豊かで未来を切り開く生徒の育成
希望 実践力 知性

目指す学校像

- 地域・社会づくりに貢献する人材を育成し、地域とともに成長する学校
- 生徒同士、教師・生徒間の信頼関係を基盤とした温かく活気に満ちた学校
- 高い志をもち、未来を切り開く力を育成する学校

めざす生徒像

- 将来に希望をもち自分と向き合う力、社会に貢献しようとする生徒
- 自他ともに大切にし、多様な他者と協働しながら粘り強く挑戦する生徒
- 自分の強みを見つけ、向上心をもって学び続ける生徒

めざす教師像

- 生徒への愛情にあふれ教職員としての誇りと情熱をもち地域や社会づくりに貢献する人材育成をめざし実践する教師
- 学校に関わる全ての人々と協働し、チームワークを大切にして職務に当たる教職員
- 日々自己研鑽に励み、組織として協働して主体的に職務を遂行する教師

令和8年度の重点目標
自他を大切にし、協働しながら主体的に学び成長する生徒の育成
 【知性～深く考え、学び続ける力～】

成果指標

【学力】
 県平均・全国平均点超え
 自己評価3.5以上

【体力】
 全種目平均Tスコア50以上

【情報活用能力(情報モラル含)】
 自己評価3.5以上(4段階)

【人権意識・社会貢献力】
 自己・他者評価3.5以上(4段階)
 不登校出現率前年度比9割以下

授業づくり ← **主体的な学び**

- 生徒が安心して学び合える**支持的風土**がある学級づくり
- 個別最適な学び・協働的な学びの**充実**のための指導力強化
- 生徒・教師の**情報活用能力**の組織的・計画的推進

環境づくり ← **自治の力**

- 生徒が安心して過ごすことができる**安全な学校環境**づくりの強化

組織づくり ← **交流・連携**

- いじめ・不登校撲滅のために、生徒と向き合う時間を確保するための教育活動・校務の**組織的・機能的**運営と教職員の**人材育成**

小中連携

経営の重点

- ①非認知能力の育成
- ②基礎・基本の確実な定着による認知能力の向上
- ③新教育課程の充実
- ④生徒指導・支援
- ⑤小中連携強化による校区事業
- ⑥保護者・地域等との連携・協力強化
- ⑦ICTを活用した業務改善
- ⑧学年内組織体制の充実

人権・同和教育の充実

〈教育課題〉

- 人権意識の向上
- 確かな学力の向上
- 情報活用能力の向上
- 社会貢献力の向上

〈経営課題〉

- 組織運営上の課題－経営ビジョンの共通認識と協働による分掌業務の適正化
- 教職員の課題－教師力の向上(授業力・生徒指導力・人権認識・同僚性・協働性)
- 教職員の意識改革・人材育成

令和8,9,10年度 学校教育目標

地域を愛し、心豊かで未来を切り開く生徒の育成

令和10年度 重点目標（仮）

社会貢献の志をもち主体的に地域に関わる生徒の育成
【希望～前向きに未来を描く力～】

令和9年度 重点目標

自他を尊重し、協働して粘り強く挑戦する生徒の育成
【実践力～学びを行動に移す力～】

令和8年度 重点目標

自他を大切にし、協働しながら主体的に学び成長する生徒の
育成【知性～深く考え、学び続ける力～】